

令和8年度 杜陵高等学校奥州校教職員 働き方改革アクションプラン

～ 「熱意・誠意・創意」で明るく健康的な職場づくり ～

杜陵高等学校奥州校定時制では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R7年度:0人(参考: R5年度:0人R6年度:0人)
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R7年度:14日(参考: R5年度:18日、R6年度:19日)

【定性的現状】

- 教職員の意識
・当校で推進する「計画的な年次取得」の取組が推進されている。
- ・時間外勤務の長時間化が解消している状況を維持する。
- 管理職のマネジメント
・業務効率化を意識し、業務の精選と見直しを推進している。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 時間外在校等時間を1日2時間以内とし、1カ月全体の平均を45時間以内とし、引き続き年360時間を超える教職員をゼロにします。
- 年次休暇の計画的取得を推進し、夏季休暇の取得を100%にします。

【目指す姿】

- ・教職員がそれぞれのワークライフバランスを意識してウェルビーイングを実現しつつ職務に取り組む。一方で、本校の役割を自覚し自らの責務を果たしている。
- ・教職員の目配り、気配りの行き届いた教育によって、生徒個々の能力を引き出し、生徒が明るく学校生活を楽しんでいる。
- ・教職員一人一人がやりがいを感じながら業務に取り組める教育環境が構築されている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・働き方改革プランの時間外在校等時間縮減の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保し、ウェルビーイングの実現を目指します。 ・管理職が、教職員の健康診断の結果や普段の健康状態を把握し、配慮が必要な場合は積極的に対処します。 ・職員相互の理解と心遣いに基づいた風通しのよい教職員の文化を醸成し、メンタルヘルスを心掛けます。 ・年次休暇の計画的な取得を推進し、教職員が生き生きと仕事ができる環境づくりに努めます。
(2)	学校における業務改善の推進	・日常的にこまめな情報交換を行い、定例職員会議など、会議が効率よく行われるよう時間短縮に努めます。 ・各教職員が、軽減・廃止できる業務について、積極的に提案します。 ・会議資料のデータ配信を推進することにより、会議に伴う準備業務の時間短縮を図ります。 ・教材データの共有化を推進することにより、業務の効率化を進めます。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・定時制と通信制に所属する教職員が協力する業務と独立する業務とを明確にして、負担軽減を図ります。 ・SCやSSW、児童相談所、福祉施設など外部と連携して生徒を指導する体制を構築します。 ・PTAやFTA、同窓会等の事務局業務について、学校及び教職員が担う業務の適正化を図るよう、関係団体との協議を積極的に進めます。 ・働き方改革に向けた取組について、保護者に理解いただけるよう、必要に応じた情報提供を行います。
令和8年度重点取組事項		・職員が生き生きと業務に専念できる、より風通しの良い職場環境の構築を目指します。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・PTA総会等を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。